

救急外来における看護師の特定行為の行為別実施件数の可視化とQuality Indicator (QI)の構築について

救急外来の初療室では、患者さんが到着してから短い時間の中で、初期評価や初期治療が同時に行われます。そのような現場では、医師だけでなく、特定行為研修を修了した看護師が医師の指示のもとで特定行為を行い、診療や看護が円滑に進むよう日々取り組んでいます。しかし、救急外来において看護師がどのような特定行為を、どの程度実施しているのかについては、これまで十分に整理されていませんでした。そこでこの度、救急外来で行われている特定行為の実態を把握し、今後の医療や看護の質向上に役立てることを目的として、過去の診療録や業務記録を振り返り調査を行うこととしました。この調査により、救急外来における特定行為の実施状況を客観的に把握し、より安全で質の高い医療・看護の提供につなげていきたいと考えています。

【研究の対象・期間・内容】

本研究は、小倉記念病院救急外来において、2025年4月1日から2026年3月31日までの期間に診療・看護を受けられた患者さんを対象としています。調査対象期間内の診療録および業務記録から、看護師が実施した特定行為の内容や実施時期などの情報を収集し、行為別の件数として整理・分析します。本研究は過去の記録を用いた調査であり、新たな検査や治療が追加されることはありません。本研究の対象となることを希望されない方は、下記の連絡先までご連絡ください。

【個人情報の管理について】

本研究では、個人情報の漏えいを防ぐため、患者さんのお名前や診療録番号、生年月日など、個人を特定できる情報はすべて削除したうえでデータを取り扱います。データは研究用に匿名化し、パスワード管理された端末で厳重に管理します。また、本研究の結果を学会や論文等で公表する際にも、個人が特定されることは一切ありません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

外来 I (救急外来) 看護師 藤崎 隆志

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)



掲載期間2026/2月～2027/2月